

●アクアバイオ学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、豊かな生態系と高い生産性に恵まれたオホーツク海を主たる場として、資源の生物学的知見と、それを育む水圏の環境及び生態系にかかわる知見とを統合的に理解させることを教育研究の目標とし、水圏環境の保全、水産資源の増養殖、解析、管理、未利用資源の開発、漁獲物の利用加工や流通等に資する人材を養成する。

2. 教育目標

アクアバイオ学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 水産学を基盤として、水産生物学と水圏環境学に関する専門知識と技術を幅広く有する者。
- (2) 水産生物学や水圏環境学の専門家としての責任を自覚し、水産業に関わる問題解決能力と意欲を有する者。
- (3) 適切なコミュニケーション及びプレゼンテーション能力を有し、水産業を通じて社会貢献ができる者。

3. アドミッションポリシー

アクアバイオ学科は、水圏の生物や生態系そして環境はもちろん、これらの保全や増養殖にも興味を持ち、オホーツク海から地球全体の生物、生態系や環境に関する問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人を求めている。

- (1) 理科や数学の自然科学に関する科目はもちろん、国語や英語についても基礎的学力を身に付け、それを応用することができる人。
- (2) 得られた知識をもとに、様々な自然現象について創造的に深く考えて、自らの考えを的確にまとめることができる人。
- (3) 水圏における生物や生態系さらには環境に関する様々な問題に強く興味を持ち、自らの力で積極的に解決の糸口をさぐることができる人。
- (4) 与えられた様々な課題について自ら考えたことを、自らの言葉を用いて、多くの人々に平易に説明することができる人。

4. カリキュラムポリシー

アクアバイオ学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 水産生物の生物学的特徴や生態学的特徴について総合的で幅広い知識、並びに水産生物の増養殖について基礎的知識や技術を研究室配属前の学生が身に付けるための科目。

- (2) 水産生物の生物学的並びに生態学的特徴、そして増養殖についてより高度で専門的な知識や技術を修得するために、研究室配属後の学生が身に付けるための科目。
- (3) 学習の成果を社会生活や職業生活の場で生かせるように、自分の考えを伝えるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身に付けるための科目。

5. ディプロマポリシー

アクアバイオ学科は、幅広く一般教養を身につけ、水産業に関わる様々な問題の解決に積極的に貢献できるよう、以下の能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) 水産生物の資源管理の推進や資源変動要因の解明並びに水産生物の増養殖技術の確立・発展に不可欠な水産学や海洋学に関する専門知識及び技術を修得している。
- (2) 水産生物の資源管理や変動要因の解明並びに増養殖技術確立・発展において生じる問題点等を論理的に説明し、解決策を見出す能力を修得している。
- (3) 与えられた課題や生じる問題点を解決するために、協調性と高い倫理性を持って、自律的・継続的に行動する能力を修得している。
- (4) 地域の特性を熟知して、論理的に思考した後、多くの人々に平易に説明できるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。